

格付会社S&Pによるトルコの格上げについて

2013年3月27日、格付会社S&P(スタンダード・アンド・プアーズ)は、トルコの外貨建て長期債務格付を「BB」から1段階引き上げ「BB+」としました。新たな格付は投資適格級から1段階下の水準です。同時に自国通貨建て長期債務格付を「BBB-」から「BBB」に引き上げ、見通しを「安定的」としました。

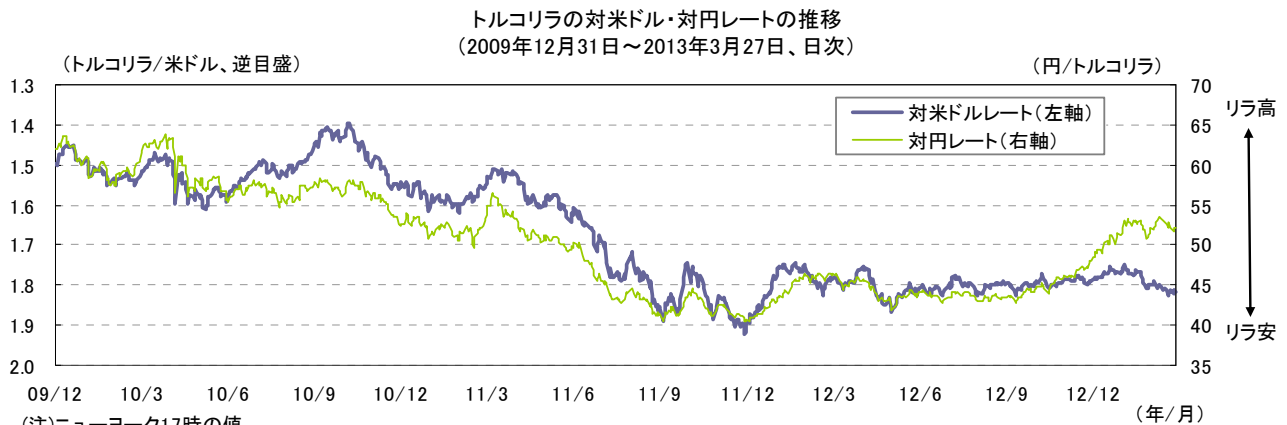
今回のS&Pの格上げの背景には、多額の経常赤字に代表されるような対外収支の不均衡において継続的な改善が見られていることが挙げられます。2012年の間にトルコの経常赤字は対GDP(国内総生産)比で4%ほど縮小し、6%程度の水準まで改善しました。また、クルド問題の進展も評価されました。

見通しについては、依然として大きな対外債務と、経済および財政ファンダメンタルズの改善とのバランスを考慮し「安定的」としています。加えて「財政および金融政策が政治的意図と独立して実行されるとすれば、更なる格上げも考えられる」としています。

S&Pによる格上げ発表を受けて、外国為替市場では一時米ドル安トルコリラ高となりましたが、3月27日の前日比ではほぼ変わらずの水準となりました。

<S&P発表のトルコの外貨建て長期債務格付> (2013年3月27日現在)

	3月27日発表	3月27日発表以前	(参考) ムーディーズ	(参考) フィッチ
トルコ	BB+ (見通しは安定的)	BB	Ba1 (見通しは「ポジティブ」)	BBB- (見通しは「安定的」)



以上

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。